まだ確定していない議事録です。でもそう中身が変わるという性質のものではないので、各定稿でもそう変わらないのでは。

**１９９９年５月１８日厚生委員会議事録（未定稿）**

○木村委員長　山本孝史君。

○山本(孝）委員　この通常国会で私も質問に取り上げました点で二点、内閣に対応をお約束をいただいている問題があります。若干質問の順番が変わっております。申しわけありません。ホームレスヘの対応と戦後補償に関する問題でございます。

　まず、ホームレスヘの対応について、事務局を担当しておられます厚生省の社会・援護局長からその進捗状況についての御報告をいただきたいと思います。

○炭谷政府委員　お答えいたします。

ホームレスの問題につきましては、先生御案内のように、雇用、それから厚生省の所管しております福祉、医療、その他住宅など、非常に幅広い分野にわたっているわけでございます。そこで、関係各省並びに地方自治体が一体となってこれに取り組むために、2月12日、政府として、ホームレス問題連絡会議を設置いたしました。この会議につきましては、私も参加させていただいておりますけれども、局長レベル、また局長レベルに副知事、助役の加わった会議、これまで3回やっております。また、さらにその下のレベルとして課長レベル、実務者レベルなどをそれぞれがやっておりまして、都合10回以上の会議を重ねてまいりました。

　その問、関係自治体からの現状説明、また実際に苦労されている現地の方々の実情、また地方自治体の御要望というものを踏まえまして、現在最終的な取りまとめということで、当面とるべき対策というものの取りまとめについて現在精力的な検討を行っているところでございます。

○山本（孝)委員　最終的な取りまとめはいつできますか。

○炭谷政府委員　何分にも会議でございますので、私どもとしましてはできるだけ早急にということでお答えをさせていただきたいと思っております。

○山本（孝）　次の会合は５月２６日とお聞きしておりますけれども、５月２６目の会合の席上で一定の対応策はお示しをいただけるという理解をしてよろしいでしょうか。

○炭谷政府委員　何分にも会議でございますので意見の一致というのはどうなるかわかりませんけれども、事務局を預かっております私どもといたしましては、先生の御指摘のように来週の２６日にも会議を開く予定にしておりますので、その場でまとまればというふうに思っております。

○山本(孝)委員　最終的な案がその場ですぐにまとまるというのは難しいかもしれませんけれども、各省持ち寄りの案があって、こういうことをやらなけれぱいけないんだという政府の取り組む課題というものが整理されて、それに対してあとは予算をどうやってつけていくかということになるんだと思いますが、そういう意味合いで、５月２６日、一定の課題というか政府が取り組んでいこうと思っておられるテーマ、施策等々がおまとめをいただけるという理解をしてよろしゅうございましょうか。

○炭谷政府委員　ホームレス問題につきましては、多角的な角度から、またそれに応じた多面的な対束が必要だというような議論でほぼ集約しつつあるわけでございます。

　具体的に申しますと、一つはホームレスの方々の総合的な相談をどうしたらいいだろうか、また自立に向けた施策、また雇用対策、住宅の問題、また実際に地域住民の方々の環境の問題というような項目について対策を現在検討し、最後の詰めを行っているわけでございます。それに基づきまして、私ども厚生省もまた他の労働省初めの関係省庁も、それに応じた施策を講じられるというふうに思っております。

　必要な予算につきましては、厚生省につきましては、今年度の予算で、既定の予算の中で対応できるものもたくさんございますので、そのようなものでまず応じてみたい。何分にも問題の緊急性から考えまして早急に着手しなければなりませんので、現在の予算を使いまして対策を講じるというように考えでおります。

○山本(孝)委員　どうぞよろしくお願いをいたします。